

記事

[Megumi Kakechi](#) · 2022年12月1日 5m read

複数インスタンスでライセンスを共有する場合に必要な設定

これは [InterSystems FAQ サイト](#)の記事です。

複数インスタンスでライセンスを共有する場合、ライセンスを統合管理するライセンスサーバの設定が必要です。

1. ライセンスサーバの構成

1) ライセンスキーの配置

ライセンスキー(IRIS.key/cache.key)は、すべてのインスタンスの <インストールディレクトリ>/mgr に配置してください。

ただし、IRIS 2021.1 以降のバージョンをお使いの場合は KeyDirectory を指定することで全てのインスタンスへのライセンスキーの配置は必要なくなります。

KeyDirectory を指定して各インスタンスにライセンスキーをロードする場合、[LicenseID](#) の設定が必要になります。

各インスタンスの開始時にローカルの iris.key ファイルが検出されない場合、LicenseID を使用してライセンスサーバにライセンスキーを要求します。
LicenseID は、管理ポータル以下のメニューで設定します。

管理ポータル：

[システム管理] > [構成] > [追加設定] > [開始] : LicenseID

2) ライセンスサーバの設定

ライセンスサーバの設定は、全ての構成で同一のライセンスサーバを使用するように定義します（全ての構成で設定します）。

ライセンスサーバは、管理ポータル以下のメニューで設定します。

管理ポータル：

[システム管理] > [ライセンス] > [ライセンスサーバ]

既定のLOCAL を更新、または削除（+ 新規作成）して登録します。

複数インスタンスでライセンスを共有する場合に必要な設定

Published on InterSystems Developer Community (<https://community.intersystems.com>)



【注意】

リモート・ライセンス・サーバがファイアウォールで保護されている場合、UDPトラフィックのためにライセンス・サーバ・ポートが開かれている必要があります。

設定項目詳細については、ドキュメントをご参照ください。

[ライセンスサーバの構成について【IRIS】](#)

[ライセンスサーバの構成について](#)

3) 全ての構成の再起動

ライセンスキーの配布と、ライセンスサーバの設定が完了したら、一旦全ての構成を停止します。その後、ライセンスサーバを設定した構成から開始し、正しいライセンスサーバに接続していることを確認した後で、ライセンスサーバ以外の構成を開始します。

確認には、%SYSTEM.License クラスの ShowServer()メソッドを使用します。実行例は以下の通りです。

```
USER>do $system.License.ShowServer()  
???????????????????? = XXX.XXX.XXX.XXX ??? = XXXX
```

このほかにも、ライセンス・サーバが管理しているライセンスの使用状況を確認するためのユーティリティが、%SYSTEM.License クラスにあります。

詳細はクラスリファレンスか、以下ドキュメントをご参照ください。

[ライセンス使用状況を確認するユーティリティについて【IRIS】](#)

[ライセンス使用状況を確認するユーティリティについて](#)

また、ライセンスサーバのフェールオーバーを行う目的で、複数のライセンスサーバを設定することもできます。

詳細は、添付資料をご参照ください。

2. ライセンスの監視

ライセンスサーバの設定を行ったインスタンスのうち、任意の1つインスタンスで以下のコマンドを発行します。

複数インスタンスでライセンスを共有する場合に必要な設定

Published on InterSystems Developer Community (<https://community.intersystems.com>)

```
USER>do $system.License.DumpKeys()  
License server Client data (1 key[s  
]) dumped to:  c:\intersystems\iris\mgr\dumpkeys.txt at XXX
```

出力ファイル dumpservers.txt はライセンスサーバが稼働するインスタンスの mgr ディレクトリに生成されます。

内容は以下のようになります (ライセンスサーバが稼働するインスタンスで確認してください)。

```
USER>!type c:\intersystems\iris\mgr\dumpkeys.txt
```

```
??
```

```
Dump of clients using the following key:
```

```
LicenseCapacity=InterSystems IRIS 2022.1, Enterprise:...  
CustomerName=XXX  
OrderNumber=XXX  
ExpirationDate=XXX  
AuthorizationKey=XXX  
MachineID=  
LicenseID=  
:
```

Client	LU	Connections	Server	Instance
192.29.xx.xxx	1	2	127.0.0.1	IRIS
192.29.xx.xxx	1	5	192.29.xx.xxx	IRIS

```
Total connections = 7, License units consumed = 2
```

```
USER>
```

3. ライセンスの更新

IRIS 2021.1 以降のバージョンで各インスタンスのライセンスキーを更新する場合、ライセンスサーバの KeyDirectory 内のキーファイルを置き換えて有効化したあと、ReloadKeys^%SYS.LICENSE を実行します。

```
%SYS>d ReloadKeys^%SYS.LICENSE
```

```
1 key file(s) uploaded to license server.
```

各インスタンスのライセンスモニタ (^LMFMON) が、構成されている LicenseID に対して異なるキーがあるかどうかを 30 分おきに確認し、ある場合はアップグレードを実行しようとしています。アップグレードされると、message.log には以下のように記録され、ライセンスが更新されます。

```
11/21/22-14:46:18:721 (12928) 0 [Utility.Event] LMF Info: New license key for ID ***** downloaded and activated.  
11/21/22-14:46:24:745 (12928) 0 [Utility.Event] LMF Info: Connected to license server 172.18.101.2,4002
```

【注意】

場合によっては、インスタンスの再起動が必要な場合があります。その場合、ライセンスモニタは以下のようなログを記録します。

再起動を行うことで、新しいライセンスキーがロードされます。

```
11/21/22-13:40:30:002 (10448) 0 [Utility.Event] ライセンスアップグレードエラー:Conversion from Core Capacity to Concurrent User インスタンスの再起動が必要です。
```

```
11/21/22-13:40:30:004 (10448) 1 [Utility.Event] LMF Warning: New license key for ID ***** downloaded but could not activate.
```



【関連】

[ライセンスサーバでライセンスを一元管理する方法](#)

[#システム管理](#) [#ヒントとコツ](#) [#Caché](#) [#Ensemble](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/%E8%A4%87%E6%95%B0%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%81%A7%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%82%92%E5%85%B1%E6%9C%89%E3%81%99%E3%82%8B%E5%A0%B4%E5%90%88%E3%81%AB%E5%BF%85%E8%A6%81%E3%81%AA%E8%A8%AD%E5%AE%9A>